

府中市健康地域づくり審議会
第23回次世代創造分科会 報告書

- 1 日時：令和元年12月18日（水）19：00～20：30
- 2 場所：府中市役所2階 第一応接室
- 3 出席者：吉原 純（分科会会長） 板橋 千代美（分科会副会長）
山根 達子（分科会委員） 田中 幸夫（分科会委員）
門田 和也（分科会委員） 河村 昌子（分科会委員）
谷 秀樹（職権委員）

4 概要

- (1) 開会
- (2) 分科会長あいさつ
- (3) 議事
第2期府中市子ども・子育て支援事業計画について
ア. 計画素案について
イ. 今後のスケジュール
- (4) 閉会

以下、主な質疑及び意見等

【議事】

ア. 第2期府中市子ども・子育て支援事業計画について

質 問 重点目標2教育のまち府中については、教育委員会と連携することによりもっといい案が出てくるのではないかと。

事務局 教育委員会へこの案を提示し、確認いただくようにしている。

質 問 結婚支援については進んでいるのか。

事務局 婚活などの結婚支援を行っている。市外の参加者も多いが、市外の方がカップリングになったとして、将来は府中市に住みたいと思われるようにしたい。

質 問 市外から府中市の婚活イベントに参加するのか。

事務局 広島市や四国から来られる方もいる。

質 問 府中市の若者が福山市や近隣の市町へ行かれているということか。

事務局 行かれていると思う。リピーターの方も多く、そうなると出会いも広がらないので、いろんなどころに行きたいと思われていると思う。

意 見 働き手が不足している中で、能力のある外国人を呼びたいと思うように企業側が進んでいくのであれば、実際に人口も増えるし面白い市になりそう。

事務局 現在上下町で外国の方が働きに来られていて、日本語サロンなどを実施したりしているが、そういったものが一つのケースになると思う。

質 問 情報発信に関する充実と強化とあるが実際にどうなのか。

事務局 情報発信力が弱いというのは課題である。必要な人に必要な情報を届ける点とみなさんに府中市はこんなことをやっていると広く情報を発信するという二つの側面があると思う。母子モという新しいアプリを入れたが、母子のニーズにあった情報の発信をしていかないといけないと思う。また、保護者同士のつながりが生まれるサロンは良い効果が生まれると思うので充実していきたい。

意 見 府中市は進んだことをしているのにみんなが知らないのは情報発信力がないからではないか。また限られた財産の中でどこに重きを置くのかという色みたくないものがないと難しい。

【本理念と量の見込みと確保方策の承認】

委員全員より承認

イ. 今後のスケジュールについて

質 問 パブリックコメントはどう進めるのか。

事務局 発信は市のホームページで行う。周知は広報や保育所等に掲示をして行いたい。